

**機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
IUTAM 分科会（５回）、理論応用力学企画小委員会（第４回）合同会議 議事録**

1. 日時 令和元年１０月２４日（木曜日）10:00 - 12:00
2. 会場 日本学術会議 6 階 6-C(1) 会議室
3. 出欠（◎委員長、○副委員長，△幹事）

IUTAM 分科会

出席 菱田公一◎, 大島まり, 佐野 理, 西村直志, 吉村 忍, 久保司郎, 藤井孝蔵, 金田行雄 (SKYPE○), 松本洋一郎, 緑川光正, 竹内 徹, 新野 宏, 亀田正治△, 前川宏一△

理論応用力学企画小委員会

出席 菱田公一◎, 佐野 理, 西村直志, 高木 周, 堀 宗朗, 山川 誠, 吉川鴨宏, 吉川 仁, 山田貴博, 亀田正治△, 前川宏一○

4. 配布資料

委員名簿

- 資料 1 - 1 議事録（IUTAM 分科会④・理論応用力学小委員会②合同会議）
- 資料 1 - 2 議事録（理論応用力学企画小委員会③）
- 資料 2 理論応用力学コンソーシアム参加依頼状・規程・内規
- 資料 3 - 1 誘致事業計画書
- 資料 3 - 2 誘致助成申請書
- 資料 3 - 3 ICTAM2024 招致作業準備会 20190923 議事要旨
- 資料 3 - 4 ICTAM2024_Invitation_to_Tokyo A5 20190805
- 資料 4 - 1 第 6 5 回理論応用力学講演会プログラム
- 席上配布資料（資料 4 - 2） 第 6 5 回理論応用力学講演会 事業（会計）報告書

議題

- 1) 委員会成立の定足数が確認されたのち、菱田委員長より、承認・公開済みの資料 1 の議事録を参照用に提示したとの報告があった。合わせて、機械工学委員会藤井委員長より、旅費手当配分のルールが説明された。
- 2) 菱田委員長より、資料 1 と資料 2 を用いて理論応用力学コンソーシアム設立（日本工学会内）の経緯が説明され、順調に会員が集まっていることが報告された。
- 3) 亀田幹事、菱田委員長より、ICTAM2024 誘致に向けた準備状況について報告があった。日本工学会に設置された理論応用力学コンソーシアム（本委員会は協力会員として参画）を通じて資金の受け入れ体制を整えたこと、東京観光財団から誘致活動資金援助の受託が認められたこと、誘致が成功した際には改めて招致委員会の設置が必要となること、ドイ

ツ（アーヘン）、ブラジル（リオ）、ベトナム、日本が立候補の準備を進めていることが報告された。

DIVERCITY、INCLUSIONの観点からも、ベトナムと対抗するのではなく、アジアを取り入れた連合の戦略を持ち、日本で開催する意義を明確に打ち出すこと、そのうえで広報戦略を立てる方向性が打ち出された。さらに菱田委員長から、中国での誘致・広報活動、日本工学会内における経理処理の形態等について説明がなされた。

来年に予定されている誘致活動の一環としての理論応用力学ワークショップについて審議を行った結果、主催は ICTAM2024 誘致委員会（日本工学会に設置）とし、日本学術会議には後援を依頼することを承認した。

4) 高木委員より資料3-3に基づき、来年開催の理論応用力学ワークショップの趣旨説明（招待メンバー、プログラム等）が行われた。堀委員より、9月23日に集会した準備会の様子について説明があり、若手研究者の意気が大いに上がってきたことが報告された。亀田幹事より招待候補者が説明され、7名に招待状が送付されたことが報告された。立食形式の案1に賛同する意見が多数であった。菱田委員長から資料3-4を用いて招致活動を展開している旨、報告があった。

5) 亀田幹事より、資料4-1、資料4-2を用いて、土木学会応用力学シンポジウムと理論応用力学講演会の合同開催事業会計報告の説明があり、主に大学における会場経費の高騰から赤字が発生したことが報告された。これに対して、菱田委員長より、従前からの積立金（日本機械学会から日本工学会へ移管）から50万円を上限に補填するとの提案があり、審議の結果、原案を承認した。諸手続きと土木学会事務局との折衝等は、委員長と幹事に一任された。

6) 次回の理論応用力学講演会は日本建築学会（2021年度）が主幹事学会となることが確認された。

7) その他 堀委員より、2020年4月12日の理論応用力学ワークショップに、委員各位も是非、参加頂きたい旨、要請された。

以上